

視察報告書

1. 視察先：富士見市
2. 視察日：平成25年7月29日（月）10：00～12：00
3. 参加メンバー：菅野浩考 市民クラブ全5名
4. 視察目的：財政健全化条例を学ぶ

<学んだこと>

- ① 「財政健全化条例」策定のきっかけ
市長選マニフェストで財政健全化条例策定を掲げた現市長が当選したことによる。
- ② どのようにして策定したか（策定プロセス）
先ず先進自治体の多治見市を視察し、滑川市の事例を研究し、2市を参考にした。行政が主体的に策定し、議会に説明。議会では特別委員会等の特別の取り扱いはなかった。市民参加も特になかった。
- ③ 特に参考になった点
「財政運営判断指標」及び「財政運営目標」を数値で発表していること。

判断指標	H23 実績	H29 目標値
財政力指数	0.771	0.8
経常収支比率	89.0	88%以下
財調基金比率	12.5%	12.5%
地方債残高比率	119%	110%
債務償還可能年限	4.8年	4年以下

*常識的には財政は年々厳しくなり、H29にはH23より悪化する可能性がある。中間地点で達成絶望となる可能性もある。その時はどうするか。

富士見市のコメント

- ・毎年変動があるので各年度の数値は入れていない。H29に達成することを目標としている。
- ・勿論達成不可能の場合もあり得る。最善の努力をして、未達成の場合は「説明責任」を果たす。あらゆる努力をすれば許される。

数値を発表することは未達成の場合を考えると「リスク」である。しかし、市長は「あらゆる手を尽くせば、追及されても恐くない」という見解のようである。（以上）